

平成29年5月23日

関係各位

『一般社団法人日本マイクロバイオームコンソーシアム』設立

～製薬・食品・化粧品・検査会社等による企業コンソーシアム～

国内の製薬、食品、化粧品および検査会社企業 19 社は、このたび「一般社団法人 日本マイクロバイオームコンソーシアム (Japan Microbiome Consortium、JMBC) を4月19日に設立いたしました。

本法人は、企業連合体である新たなコンソーシアムを形成することで、マイクロバイオーム (微生物叢) 研究領域において産学官の連携を促進し、革新的医薬品や機能性食品・化粧品の創出といった産業応用を加速させ、国内の健康医療の増進を目指します。

【法人概要】

- 名称： 一般社団法人日本マイクロバイオームコンソーシアム
英名： Japan Microbiome Consortium (JMBC)
目的： マイクロバイオーム研究開発及び関連産業の発展を図ることにより、我が国の保健・医療・安全・福祉の増進、国民生活の向上、科学技術の振興、及び経済の発展に寄与する。
設立： 平成29年4月19日
代表理事： 竹中登一
所在地： 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーC 7F (公財) 都市活力研究所内

【設立趣旨】 人間の体表面には、1000種類以上、100兆個以上の細菌・真菌などの様々な微生物が存在し、共生関係を形成し、ヒトの健康や疾病との関係が古くから知られています。それら微生物の集合体を「マイクロバイオーム (微生物叢)」と言い、次世代シーケンサー等の解析機器や技術の進展により、近年「マイクロバイオーム」と数多くの疾患や健康との関連が次々に明らかとなつていきます。しかしながら、「マイクロバイオーム研究」から、革新的医薬品や機能性食品や化粧品といった健康医療を増進させることのできる製品を創出するためには、産業化に向けた解析手法の標準化や健常者の「マイクロバイオーム」を定義する必要があります。また、「マイクロバイオーム」は、民族性・地域性との関連が深いことが明らかにされていることから、日本人の基盤データを取得し、解析する必要があります。これらの課題を効率的に解決するために、様々な分野の企業が集まり、「一般社団法人日本マイクロバイオームコンソーシアム」を設立しました。これから、日本人**健常人マイクロバイオーム解析データベース構築**や**マイクロバイオーム研究の普及・促進**をおこなっていきます。

本法人の代表理事である竹中登一は、「マイクロバイオーム研究領域は、国内の健康医療環境にパラダイムシフトを予感させる新たな研究領域であり、このようなプレコンペティティブな企業間コンソーシアムを形成することで、産学官の連携を促進し、産業応用を大きく加速できることが期待できる。」と述べています。

【主な活動】

- ・マイクロバイオーーム解析に関する推奨プロトコル作成、関連指針作成
- ・健常人マイクロバイオーーム解析データベース構築計画立案作成と実施
- ・データ解析手法の開発と共有化
- ・マイクロバイオーーム研究の普及・促進を目的とした各種広報活動
- ・アカデミア・関連団体・企業間の情報交流活動
- ・マイクロバイオーームおよびデータサイエンス研究人財育成

【入会企業】

味の素(株)、アステラス製薬(株)、(株)LSIメディエンス、大塚製薬(株)、小野薬品工業(株)、協和発酵キリン(株)、JSR(株)、塩野義製薬(株)、(株)資生堂、第一三共(株)、大正製薬(株)、大日本住友製薬(株)、田辺三菱製薬(株)、(株)DNAチップ研究所、日本たばこ産業(株)、富士レビオ(株)、三菱ケミカル(株)、森下仁丹(株)、<事務局> (公財) 都市活力研究所 以上、19社・団体

【お問合せ先】

一般社団法人日本マイクロバイオーームコンソーシアム 事務局

公益財団法人都市活力研究所 担当 味村 (ミムラ)

TEL 06-6359-1322 FAX 06-6359-1329 E-mail: mimura@urban-ii.or.jp